



オフィスK・M  
AFP ファイナンシャルプランナー

## 伊 藤 の つ ぶ や き コ ラ ム

### NISAで大人気の インデックスファンドってナニ？

こんにちは、ファイナンシャルプランナーの伊藤です。

新NISAの人気銘柄を見ているとダントツで1位がeMAXISシリーズの全世界株式(オルカン)です。

これは、インデックスファンドと呼ばれる運用方針の投資信託で、外食産業に例えるとファーストフードのような戦い方をします。本日の記事はインデックスファンドについてです。まずはそもそも投資信託ってナニでしょう？

#### 投資信託とは？

投資信託とは金融商品のジャンルの一つで、我々の年金もほとんど投資信託運用されており、iDeCo やNISA など国はいつもで投資信託を推奨しています。

ではどのような特徴があるのでしょうか？

#### 1. 少額資金からスタートできる

まず、投資信託はみんなから集めた多額の資金を財源に投資してくれるので小額からもスタートできます。

#### 2. 分散投資できる

みんなから集めた多額の資金を使って分散し、数十、数百社に投資してくれるので紙切れになるリスクはほぼ考えなく良いと言えます。世界の名だたる企業が一気に数十社も倒産するなんてことは想像できませんよね？ただこれには多額の資金が必要になりますが投資信託はみんなから集めたお金を使うので、例えば月に1万円投資するだけでも、数十、数百という分散投資を可能にします。

#### 3. 運用のプロが管理してくれます

また、それらの分散投資した株や債券をファンドマネージャーと言われる運用のプロが管理し、売り買いをしてくれます。数十、数百の分散投資を時代の変化や社会情勢に合わせて個人で行うのは不可能ですよ？これを信託報酬という手数料と引き換えに行ってくれるのが投資信託です。

#### 全世界株式(オルカン)とは？

インデックスファンドとは、この管理や売り買いをコンピューターにプログラム通りにさせることで超低コスト実現した投資信託のことです。

全世界株式(オルカン)の場合は時価総額の高い順に3,000社を並べて上から順位に時価総額分の口数を按分形式ですべて買い付けていくというプログラムです。世界の平均値に寄り添った運用になりますのでみんな一緒という安心感があります。おおもとのデータが同じなのでどの運用会社を作ってもほとんど同じパフォーマンスになります。という事は、手数料が一番引き下げたナンバーワン商品の独り勝ちです。日本一の山は富士山ですが2番目の山を誰も知らないのと同じ現象ですね。この戦いを制したのがeMAXISシリーズで、最も安い信託報酬に設定したことで、一番売れている投資信託の座を手に入れました。もちろんその他にもナンバーワンを取るために大量の広告宣伝費をかけて一番認知を取りに行った投資信託だとも言えます。

外食産業でいうとまさにマクドナルドのような投資信託ですね。一番認知を取り、大量生産大量消費、同じ味という安心を確保し、従業員はマニュアル通りに動き、一番手数料を引き下げることに成功しています。

#### オルカンを購入するには？

ちなみにeMAXISシリーズはとにかく手数料を引き下げるために、担当者がいると扱えない通販専門商品です。中身は遺書なのでパフォーマンスなどはほぼ同じになりますがいるタイプの全世界株式(オルカン)で有名なもので「たわらノーロードシリーズ」があります。信託報酬の差は0.0555%となり、仮につみたて投資枠の120万円分購入すると667円の差になります。つまり担当者がいる代わりに667円の手数を抜かれてしまうか、お亡くなりになってパートナーに名義変更するところまでをすべて自分たちで管理する代わりに667円の手数料がかからないか争点になります。

#### インデックスファンドの欠点

ではこのインデックスファンドの欠点は何があるのでしょうか？

インデックスファンド自体は決して悪いものではないですが、このまま流行すると問題が起きます。

1. 全ての企業を買うという事は本来そこまで人気のない企業の株も買い支えるため市場が歪み、本来の企業の価値よりもかなり割高で買われることとなります。

例えば、軍事産業がここ数年で時価総額を何十倍に伸ばしていますが、何十倍高い状態で軍事産業を購入していることとなります。

2. また戦争をきっかけにエネルギーなどの価格高騰など、世界的な物価上昇時代に入ったこれからは、価格決定力のある企業と、価格を上げることのできない企業に2極化されます。そうすると全てを買い付けるインデックスファンドは不利になります。

3. そもそもですが、インデックスファンドは過去の数字にしか着目していません。自分のお金が軍事産業を通じて、今戦争に使われていることにも気づきません。手数料や過去実績の数字をいくら見ても、いまいち納得が得られません。自分のお金を世界のどのような企業を使ってどのような人たちの課題解決し、その結果として成長したことで自分の資産も増えたというようなイメージがしにくく投資をしている手触り感を得にくいのです。

#### まとめ

商品を選ぶ力がない人たちにもなるべく安心した投資の機会を与える点において、インデックスファンドの功績はとても高いと言えますが、あくまでも一つの指標的商品であり、資産形成メインディッシュでないというのが私の考えです。

皆さまはどう感じましたか？  
次回は、資産形成メインディッシュのお話です。

保険代理店 オフィスK・M

〒505-0125 岐阜県可児郡御嵩町伏見 962-2

TEL・Fax 0574-42-6668

E-mail: i10chan@khaki.plala.or.jp



伊藤浩一の Line



伊藤浩一のフェイスブック

